

ユングのサウンドトラック



[ユングのサウンドトラック_ダウンロード1](#)

著者:菊地 成孔

出版者:イースト・プレス

出版时间:2010

装帧:B6判

isbn:9784781602882

女優と衣装と音楽と夢の、美しい記憶。

タブーに抵触するため、これまでどこにも発表できなかった松本人志『大日本人』論。

ジャン＝リュック・ゴダールの作品を、「音楽」と「恋」から読み解く超絶の集中講義。

古典から最新作に至るまで、ハリウッド映画を貫くフェティッシュな魅力。

そして脳内で撮影中の「妄想の監督作品」一映画をめぐる、壮大な愛のメモワール。

1
映画は何故、音楽を必要としなくなったか？ —ジャン＝リュック・ゴダールを中心に
した、映像と音を巡る小論考（Our Music of Godard; J/L/G 1
67年までのゴダールを、音楽と共に考える。—アテネフランセにおける講義；ドキ
ュメンタリーとフィクションのはざまで鳴る「音」—対談・蓮實重彦 ほか）

2
“脳内映画”と“映画” —いくつかの作品論と作家論、そして楽しい計画（記憶喪失
学；最もわかりやすく、最も面白くなってしまった“実験” —北野武『TAKE SH
I S』；「日本が世界に誇る唯一の文化」という名の個人。という、信じがたい現
象が定着するまで我々はどうしていたのか？ —宮崎駿『ハウルの動く城』 ほか）

3
甘い悪夢の日々 —2006～2009（『2046』のサントラ；お盆は映画三昧；
『ゲルマニウムの夜』と音の不感症 ほか）

作者紹介:

菊地成孔 [キクチナルヨシ]

1963年6月14日、千葉県銚子市生まれ。音楽家、音楽講師、文筆家。84年に
プロデビュー。その後、デートコースペンタゴン・ロイヤルガーデン、SPANK
HAPPYなどのグループを主宰、現在は菊地成孔ダブ・セクステット、菊地成孔と
ペペ・トルメント・アスカラルで活動中（本データはこの書籍が刊行された当時に
掲載されていたものです）

目録:

[ユングのサウンドトラック 下载链接1](#)

标签

酸素

菊地成孔

日本

评论

[ユングのサウンドトラック_ダウンロード1](#)

书评

[ユングのサウンドトラック_ダウンロード1](#)